

令和3年度各地区ミーティング回答事項の対応方針調書(8.鈴田)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
1	環境センターへの可燃粗大ごみ持ち込みの制限期間、他市へのごみ持ち込み及び処理等のかかる経費について	ゴミ焼却炉火災に伴い可燃粗大ゴミは、できるだけ持ち込みを控えるようにとの事ですが、具体的にはいつまででしょうか。また他市に処理を依頼するのにかかった金額はいくらでしょうか。	現在、3台の焼却炉の内一炉が復旧しており、35t程度焼却が可能です。2炉目は来年1月中、3炉目は新年度の早い時期に復旧を目指しています。可燃粗大ごみの持ち込みにつきましては、保管が難しいなど急ぎの状況でなければ、3炉目が復旧するまで持ち込みを控えていただきたいと思います。持ち込まれた分につきましては、処理させていただきます。経費につきましては、発生日から9/30までの見込みで焼却費2億9千万円、運搬費が2億3400万円、合計でおおよそ5億2千万円となっており、一日平均370万円となっています。一炉復旧することにより他市処理分が約3分の1減り、復旧することにより経費も減ってまいります。	市民環境部長	環境センター	市民環境部長の回答のとおり
2	鈴田小学校通学路の安全確保について	鈴田小学校への通学路について、34号線が渋滞する関係で、鈴田小学校前をバイパスのように使いスピードを出しながら走行される方がいます。鈴田小学校周辺に安全確保のためハンブを設置できないのか検討をお願いします。その他の方法でも構いません。できれば、実態調査を行ってほしいです。	①ハンブについては道路課で対応できる箇所はあると思います。ただ、地域の方々、それぞれご意見あると思いますので、どのように進めていくのか協議しながら進めていったほうが良いと思います。速度制限については、警察が対応しますので、市では制限はできませんが、ゾーン30の設定ができないか警察と協議はできると思います。これについても、エリア指定になるので地域の皆様との協議が必要になると思います。 ②ゾーン30のエリア指定については、危険である場合は設定していくこととなりますので、まず現場を調査させていただきたいと思えます。指定がなくても取り締まりはできるとの事でしたので協議をしながら対応していきたいと思えます。 ③ハンブの設置について、速度抑制には効果はあるが、通過するたびに騒音と振動が起こるとの事で、住民の方の合意形成が必要となるかもしれません。道路上で物理的に速度抑制を行うため。警察と協議も必要となるものと思えます。警察の方でもハンブやポストコーン等を通学路に設置することを推奨されています。今後は、町内会、住民の皆様、警察等と設置場所、設置の数等について協議を行い設置の可能性を検討していきたいと考えています。なお国交省の方で、可搬型ハンブを貸し出してくれるとのことですので実証実験的に地元の方々の反応を見るのも良いかと思えます。	①市長 ②総務部長 ③都市整備部長	道路課 安全対策課	①【道路課・安全対策課】 市長回答のとおり ②【安全対策課】 総務部長回答のとおり ③【道路課】 都市整備部長回答のとおり
3	インフルエンザワクチンの自己負担額について	近隣の自治体に比べ、大村市のインフルエンザワクチン接種の自己負担額が高いのはなぜでしょうか。	①インフルエンザワクチン接種の自己負担額は、それぞれの自治体の考え方で異なります。大村市では基本的に2分の1を助成し、2分の1の自己負担をお願いしています。 ②インフルエンザワクチン接種は、保険診療ではなく自由診療であるため、通常の窓口3割負担でなく、価格自体を医療機関が定めており、市内ではその価格自体が近隣自治体に比べて高めになっています。この価格がもう少し安くできないか、市としては医師会や医療機関と相談を続けている状況です。	①福祉保健部長 ②市長	国保けんこう課	①福祉保健部長回答のとおり ②市長回答のとおり

令和3年度各地区ミーティング回答事項の対応方針調書(8.鈴田)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
4	34号線拡幅工事について	<p>①鈴田地区では34号線の渋滞に起因すると思われる事故が起きています。34号線拡幅事業はいつ完了するのでしょうか。工期はいつごろまで設定されているのでしょうか。事業費の予算措置はどのようなものかお尋ねしたいです。鈴田峠のトンネルを含めたバイパス区間の完成を早急にやってもらい諫早工区とつなぐといくらか渋滞解消も早くなると思います。また、交差点の改良について早めに着工について国交省と協議をお願いします。この工事に着工すると市道・水路・農道に影響が出るものと思われるので、予算措置をお願いします。</p> <p>②未定と言われると早期の完成は期待できないという事でしょうか。もう少し、踏み込んで進めて頂きたいと思います。予算措置については、早急に対応できるよう大きく予算をつけてもらえるよう要望してほしいです。</p>	<p>①国道34号の完了予定・事業費については本日情報を持ち合わせておりません。国土交通省に確認している所によると完了予定は未定となっております。現在の進捗状況は予備設計等が終わりまして、地元説明会が開催されるまでとやまと来たと言う状態です。交差点の計画の説明や今後の協議につきましては、ご確認されたい点がありましたら、必要に応じて市から国土交通省に依頼して説明会の場を持っていただきたい旨を望んで参ります。その後の課題につきましては、まず地元の皆様と大村市、関係機関との協議を持ちまして、市としての方向性を決定したのちに国土交通省の方へ要望をしていきたいと思います。</p> <p>②国道34号線の拡幅工事の早期完成が望ましいのでしっかりと要望活動を続けていきます。長崎市の長崎河川国道事務所への要望を今年度も行っていますし、九州地方整備局にも迅速な推進のため大きく予算措置を行っていただけるよう要望しています。つい先日まで、九州地方整備局の局長をされていた方が国土交通省道路局の局長をされているので、11/17に村山局長の所に要望に行ってきます、以前から国道34号に関して大変お力添えをいただいていますので、今後もお力添えを頂きたいとおもっています。</p> <p>完成時期は、用地買収の関係もあり、国土交通省も言えないと思います。</p> <p>H30年3月に新規事業化を決定した際に、様々な方から10年は掛かると言われました。我々としては、いくらかでも前倒しして進めたいと思っています。</p> <p>諫早とまず繋ぐことができれば、暫定的に開通できるのではないかと我々も思っていますので、そうできるよう今後も努力していきます。</p>	<p>①都市整備部長 ②市長</p>	都市計画課	<p>①都市整備部長回答のとおり ②市長回答のとおり</p>
5	豪雨災害時の水はけの問題、陰平から国道34号線を横断する信号機の設置、農業従事者に対する補助金について	<p>陰平側から国道34号線を横断するための車用信号機の設置についてこちらの場で過去にもお話していましたが、車用の国道34号線の整備に10年以上かかるということで、まだまだ我慢しないといけないという事であれば寂しい思いがします。</p> <p>昨年の豪雨災害時、岩松地区で非常に水が溜まりました。今鉄道近くの埋め立てがあっていますが、その関係なのか水はけが悪く溜まっています。ああいうところに行政の指導はできないでしょうか？</p> <p>また、農業従事者の高齢化が進んでおり、継続して農業を続けるには行政のお力添えが必要と感じています。諫早の飯森から愛野の方に伺った際に、見事な施設が見られました。詳しくはわかりませんが国からの補助金などが地区に分配されているのではないかと思います。大村市でも行政から農業継続のための資金援助をいただけないのでしょうか。高齢の就農者でも、新しくやってみようかという人もいますので、そういった方に少しでも資金援助をしていただけて何とか農業を継続できればと思いますので、何とかそこに助成をいただけるような体制づくりをお願いします。</p>	<p>①昨年度の7/6の豪雨災害の折に交差点が冠水し、7/15に国土交通省に行きました。当時の池田局長から国道34号線の拡幅事業と合わせて、抜本的な解決策を講じていかななくてはならないとご答弁頂いています。工事と合わせてという事だと思います。ただ、今おっしゃられた線路側の排水が悪かったという話は、その時の原因として我々も確認していましたので、長崎河川国道事務所に行って、2か所の排水箇所の工事を昨年度完了させています。あのようなことが起こらないよう今の時点で整えています。</p> <p>国道34号線が広がる際は、ここが合わせて対応できるようにという事で国がしっかり言っていますので、今後注視していきたいと思っています。</p> <p>②要望があったという事は警察署・公安委員会の方にお話ししたいと思います。</p> <p>③諫早の愛野のあたりの事と思われます。県営での基盤整備事業で大規模なジャガイモの基盤整備をされている所と認識しています。大村では、鈴田地区の内倉地区でミカンを中心とした基盤整備組合を今年度作っていただいたところです。概ね6年後の完成を目指して基盤整備が行われています。それ以外の国からの補助金をどうやってもってきているのかについては、若い新規就農者の方がキュウリやトマト、イチゴなどの栽培を始める時にハウスの建設費用、農業機材の購入費用の補助などで国の補助金を活用させていただいています。鈴田地区は有用な農地を残していただけており、残していきたいと思っていますので生産者の皆さんからまとまったご意見をいただければ、県や国に対して働き掛けをしながら、補助金を活用して農業を継続し、残していけるような仕組みを皆さんと作っていきたくと思っています。</p> <p>大村市の独自の補助制度として、65歳までに新たに農業を始められる方については、補助制度を設けていますので、そういったものも活用していただければと思います。新規就農者の方はまずご相談いただければ市としてできることは後押しをしていきたいと思います。</p>	<p>①市長 ②都市整備部長 ③産業振興部長</p>	<p>都市計画課 安全対策課 農林水産振興課 農林水産振興課 農業経営室</p>	<p>①【都市計画課】市長回答のとおり</p> <p>②【安全対策課】信号機の設置につきましては、大村警察署交通課の所管になりますので、直接、町内会から大村警察署へ要望書を提出してください。大村警察署が現地調査し、長崎県警本部と協議したうえで設置する必要があるか判断されます。</p> <p>③【農林水産振興課・農林水産振興課農業経営室】産業振興部長回答のとおり</p>

令和3年度各地区ミーティング回答事項の対応方針調書(8.鈴田)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
6	惣原白鳥線の改良工事と新幹線工事埋立地利用、トンネル湧水処理について	白鳥橋から陰平に行く市道が広くなると聞いています。どの程度広くなるのでしょうか。通学路であり新幹線工事が終われば、仮設の歩道もなくなり狭くなるものと思われしますので、早急に対応をお願いしたいです。 また、その道の横に新幹線の埋め立て地と新幹線のトンネルがあるのですが、そこに水が出ています。その水の処理と土地の利用については、地権者と地元の話聞いていて頂いてその要望にそう形で対応をお願いします。	①市道惣原白鳥線については、現在用地取得に向けて用地測量を実施しています。工事につきましては、新幹線工事に伴う仮設の構造物は令和4年秋以降に撤去される予定です。撤去完了後、道路工事について早期に完成するよう進めてまいりたいと考えています。拡幅によりどの程度広くなるかについては把握していませんが地元と協議の上、設定します。埋立地とトンネルについては、鉄道運輸機構が地元の要望にそえるよう協議をされてるところです。そのままの状態が残すことも可能であると聞いています。ただ、諸々の手続きが必要となるか確認するため、地権者の方が農業委員会に尋ねられたほうがいい旨聞いています。 ②新幹線のトンネル湧水については、付け替え道路の話も出ているようです。鉄道運輸機構に、地元の要望に応じて頂けるよう市としても要望していきたくと考えています。	都市整備部長	道路課 新幹線まちづくり課	①【道路課】 市道惣原白鳥線は、既存の道路幅6.0mに対し、車道6.5m、歩道2.0mを合わせた全幅8.5mの整備を計画しております。現在、用地取得に向けて用地測量を実施しております。工事につきましては、新幹線工事に伴う仮設の構造物が令和4年秋以降に撤去される予定となっておりますので、撤去完了後に道路工事に着手し、早期に完成するよう進めてまいります。  ②【新幹線まちづくり課】 都市整備部長回答のとおり
7	鈴田川の浚渫について	鈴田川は、昭和32年の水害を受けて整備された経緯がありますが、その後の長い年月で土砂が堆積したり、草木が生えたりしています。上流の平川・小川地川・中里川の合流地点から似田橋までの堆積した土砂の撤去・浚渫をお願いします。将来的には、白鳥橋、大村湾まで浚渫、整備をお願いします。	県央振興局に確認している所によりますと、令和2年創設、令和6年までの事業として災害防止のため設けられた緊急浚渫推進事業という事業があるようです。市内の川に堆積度などを基準に優先順位をつけ、浚渫計画を立てられていると聞いています。なお、鈴田川の今お話しているあたりについては、今年度浚渫工事を実施する予定と聞いています。大村湾まで浚渫については引き続き長崎県に対して、要望を行っていきます。	都市整備部長	河川公園課	都市整備部長回答のとおり
8	鈴田地区の子育て環境について	鈴田地区は人口3,000人以下となっています。子供たちは、市外に出て行って帰ってきませんし、戻って子育てできる環境ではないと言われます。大村市は、子育てについて、どのような構想を持っているかお聞かせください。特に鈴田地区に限定した構想はないでしょうか。ちなみに、ラジオ体操ができる場所がありません。そのくらいの所です。	①鈴田地区の子育て環境について、未就学児については鈴田こども園さんを拠点として、幼保連携型こども園として幼児教育や保育を行い、地域子育て支援センターとして在宅のお母さんと子供たちが集えるようになっています。そういったところをご利用いただければと思います。  ②子育て支援策として、子育てしやすい環境の整備を民間の保育園さんやこども園さんと一緒にやっています。そういった支援は市全域でやっており、今後も充実させていかなくてはならないなと思っています。2年前まで待機児童が出ていましたので、新しい保育園を立ててもらったり、定員を増やしたりして、待機児童自体はゼロになりましたが、一年間を通してみると育児休暇明けのお母さんが復帰しようとするときに待機児童が出てしまう時期があり、こういった状況を改善するためには保育士さんを確保し、保育園が充実して、子供を預けやすい環境をつくらないといけないと思っています。 34号線の交通利便性が高まれば、鈴田地域は済みやすい場所となり人口増につながることもあると思います。道路が整うことで壘学校前のように宅地開発なども進むことも期待しております。 ラジオ体操ができる場所は、市では提供できないので、地域の方で協力いただければと思います。	①こども未来部長 ②市長	こども政策課	こども未来部長回答のとおり

令和3年度各地区ミーティング回答事項の対応方針調書(8.鈴田)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
9	岩松駅での快速列車の停車について	岩松駅に快速列車を止めてほしいです。今現在は、医療センターや活水女子大学ができていますので、利用者も増えていきますし、希望する住民もいますので、是非JR九州に要望していただきたいです。	令和元年度にJR九州に市からお願いした際、大村駅と離れていないので今の所止められないと言われました。しかしながら、今現在、大学の学生さんや地元の方など利用される方は増えていますので、引き続き市からJR九州に岩松駅での快速列車停車をお願いしていきたいと思えます。	産業振興部長	商工振興課 交通政策室	産業振興部長回答のとおり
10	惣原運動場周りの山林の整備と貸借について	惣原運動場について、運動場周りの山林の地権者に相談した所、無償での全面協力の返事を得ています。山林を切り開けば大村湾を一望でき、景色が非常に良くなります。使用貸借契約を結んだ場合、市役所から山林伐採の補助は受けられないでしょうか。また、契約について今後このようにしたらよいというアドバイスを受けられないでしょうか。	惣原運動場周りの木の伐採・開墾の諸費用について市から直接的補助はできないものと考えています。地域活性化を目的とした地域げんき交付金の活用をご検討いただけないかと思っています。所有者の方との使用貸借契約に関する市からの指導については、直接的指導ができないと考えております。また、この場所は農業振興地域の農用地区域になっているのでこちらの整備を行う際は、事前に市の担当部署にご相談を頂いた上で、整備を行っていただければと思います。	市民環境部長	スポーツ振興課 地域げんき課 農林水産振興課	【スポーツ振興課】 市民環境部長回答のとおり 農業振興地域の農用地のことについては、農林水産振興課(農地保全グループ)にお尋ねください。 【地域げんき課・農林水産振興課】 市民環境部長回答のとおり
11	保育所の地域在住者の優先入所枠について	鈴田在住の方が、鈴田の保育所にどうして子供をいれられないのかと言われていました。入所については、親の職業状況で優先的に入所しているのは理解していますが、地域の方を優先的に入所させる枠のようなものはないのでしょうか。	年度当初の待機児童はゼロになっていますが、年度末に向けて育児休暇から復帰される方が出てこられますので、現在も20名以上の方にお待ちいただいている状態です。保護者の就労状況、家庭状況を点数化した上で、まずは保護者さんの第1希望から第3希望に応じて入所していただくようにしています。地域の優先枠については、現状どこでもいいから入りたいという方でも入れない状況ですので、地域優先枠を取ることは難しい状態です。保育園というハコは市全体で足りていますが、保育士さんが足りないために子供を受け入れられないことが、待機児童発生要因の一つです。保育士さんの確保と、労働環境の整備に注力している所です。保育士さんを確保することで、希望する場所に入所できるよう取り組んでいますので、もうしばらくお待ちください。	こども未来部長	こども政策課	こども未来部長回答のとおり
12	感知式信号の設置について	国道34号線に出るところの信号の件ですが、令和元年度に松尾議員が質問された際に年度末にはできるんじゃないかと答弁されていました。もう令和3年度ですが、現状どうなっているのでしょうか。	感知式の信号の設置に必要な用地の取得について令和元年度に用地の買収が完了しています。信号機の設置については、警察において令和4年度の4月以降に設置するという回答を得ています。	都市整備部長	道路課	都市整備部長回答のとおり

令和3年度各地区ミーティング回答事項の対応方針調書(8.鈴田)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
13	冬季路面の凍結が危惧される場所への対応への対応について	雨が降ってなくても、あふれた排水で路面がぬれている所があります。大雨の時であれば、一週間と言わないくらい流れ続けています。これから先冬になれば路面の凍結が危惧されますので、早急に対応していただきたいと思っています。道路課には、現場に来ていただいて見てもらったことがある場所です。	現場に立ち会った担当に確認しまして、どのような対応が出来るのか検討いたします。	都市整備部長	道路課	路面排水対策につきましては、側溝整備が必要であると考えておりますが、下流側の河川への接続まで距離も長く、多額の事業費を要することから、早急な整備は困難な状況です。冬季路面の凍結対策については、引き続き、現地の調査を行いながら、対応策について検討してまいります。
14	国道34号線拡幅に伴う用地買収について	国道34号線の拡幅については完了時期未定との事でしたが、市は国に要望しかできないという事ですが、拡幅で移転しないといけない世帯は分かっているはず。10年後に用地交渉をされては年齢的に困るという方もおられますので、市が責任をもって仲介して、早めに用地買収・補償を進めることを検討してもらえないでしょうか。	そのような個別の要望があらましたら、市の都市計画課の方にご相談いただけましたら、国土交通省につないで早期に用地交渉を行っていたらよいとお話をさせていただきますと思います。	都市整備部長	都市計画課	都市整備部長回答のとおり